

小さいバイキング ビッケ

ルーネル・ヨンソン 作
エーヴェット・カールソン 絵
石渡利康 訳



ちから ちえ
力はなくても知恵がある!

ちよつと悪そうだけど、力持ちで、勇敢……。いつの世も、そんなカッコいい男はあこがれの的です。

ただどビッケはちがいます。

ちから ちえ
力もないし、オオカミに追われて逃げる臆病者。

それでも、とってもカッコいいんです。

ちゅうがくねん
中学年
から



柏井鈴菜さん

バルコブックセンター
調布店
(東京都)



「ウォーカー」家の男2人、女2人の4きょうだいは、夏休みを利用して無人島に出かけます。でも、子どもたちだけの冒険は思いがけないことだらけ。小

ツバメ号とアマゾン号



バイキングは、8~11世紀にデンマークやスウェーデンといった北ヨーロッパにいた海賊です。彼らはまさに神出鬼没。海を自由に移動し、上陸すると、金銀財宝をあとという間に奪います。その存在は、ヨーロッパ中を恐怖に陥れました。この物語に登場するバイキングも言い伝えそのままです。力自慢で、敵を倒した数やどれだけ重い物を運べるかを誇りに思っています。それが、バイキングの男の理想の姿だからです。

でも、そんな考えは、バイキングの仲間の中だけにしか通用しません。ビッケは、バイキングの大人たちが考える「常識」を疑問に思い、知恵を使って立ち向かっていきます。その姿はとてとても痛快で、かっこよく見えます。ちなみに、「気海賊船」(GONE PIRÈCE)は、このお話をもとにして生まれました。

作/ルーネル・ヨンソン
絵/エーヴェット・カールソン 訳/石渡利康 評論社 2011年 1400円

作/アーサー・ランサム 訳/神宮輝夫 岩波少年文庫 2010年 上下巻、各760円

「ツバメ号」で宝探しをしたり、海賊と対決したり、嵐に巻き込まれたり……。ドキドキわくわくが止まらなくなるお話です。この作品は、イギリスの作家ランサムが手がけ、世界的にヒットした「ランサム・サーガ」シリーズの第1巻。全部で12巻出ているので、気に入った人はまだまだ楽しめますよ。▲高学年からV

名作を探索



東京子ども図書館
清水千秋さんオススメ

地下の洞穴の冒険



作/リチャード・チャーチ 訳/大塚勇三 岩波少年文庫

「地下の洞穴の冒険」

ハラハラドキドキの連続

夏休みの終わりに、主人公の少年・ジョンが偶然見つけた洞穴を4人の仲間と一緒に探検する物語です。

慎重なジョン、おとなしいジョージ、食いしん坊のカスパート、小柄で無鉄砲なハロルド、リーダー気質のアロン……。5人はそれぞれ性格

が異なります。彼らのチームは、真っ暗な洞穴の中で2つに離ればなれになってしまったり、氷に足を取られながら道を探したり、何度も予想外のハプニングに見舞われ、ハラハラドキドキの連続です。少年たちは知恵と勇気で

困難を乗り越え、洞穴の出口を目指します。その過程で、少年たちの性格や行動、関係性にも変化が生まれます。少年たちに加え、優しく見守ってくれる大人たちも魅力的。冒険の途中で少年たちが食べるサンドイッチなどの食べ物も、おいしそうです。読み終えた後には、きっと友だちが増えた気分になりますよ。

*このページの本の情報は抜粋で表示しています。